

(様式 7)

公共事業継続箇所評価調査

評価確定日 (令和 2 年 9 月 3 0 日)

事業コード	R2-建-継-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業 (改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築 (バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道 1 0 3 号		担当課長名	道路課長 浅井 学
箇所名	小坂町十和田湖字生出 (和井内)		担当者名	副主幹 (兼) 班長 渡部 寿
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標 (指標) 名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H 3 1 ~ R 4 (4年)	総事業費	3.9 億円	国庫補助率	59.0	
事業規模	○延長L=807m、幅員W=6.0(8.5)m (1.25+3.00+3.00+1.25)m					
事業の立案に至る背景	<p>○一般国道 1 0 3 号は、県北地域と青森県を地域間交流のほか、一般国道 1 0 4 号との連絡や東北自動車道「十和田 I C」の活用により、広域的な物流や十和田湖を中心とした周辺観光施設へのアクセス性の向上に寄与する路線である。</p> <p>○当該交差点は、急カーブ (R=30m 3箇所) や急勾配 (i=7.0%) などの課題があることから道路改良が必要である。</p> <p>○当該箇所は十和田八幡平国立公園内に位置しており、現在は環境省により「十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム」が策定され、関係機関が一体となってナショナルパークとしてのブランド化を目標とし、インバウンド対策の強化に取り組んでいる。</p> <p>○上記プログラムを受け、小坂町では当該箇所に「十和田ひめます」を核とした道の駅や隣接する旧和井内ホテル跡地を活用したエリア一体の整備を計画しており、県と町が連携し、現道の一般国道 1 0 3 号の移設を実施していく必要がある。</p>					
事業目的	<p>○第二次緊急輸送路としての機能確保</p> <p>○現道拡幅及びバイパス整備による安全で円滑な交通の確保</p> <p>○十和田八幡平観光に寄与する広域周遊ルートの形成</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費内訳	事業費	280,000	393,000	113,000	
		経費				
		工事費	250,000	282,000	32,000	保安林区域回避のため線形を見直したことによる盛土工の増
		用補費	3,000	59,000	56,000	下水道移設補償の増
	財源内訳	その他	27,000	52,000	25,000	国有地内の残地測量の増
		国庫補助	166,600	231,870	65,270	
県債		101,800	145,030	43,230		
事業内容	その他					
	一般財源	11,600	16,100	4,500		
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工			国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	○令和元年度末で事業進捗率 3 4 %					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○国立公園満喫プロジェクトに基づく「十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020」 (計画期間:平成28年から令和2年)					
情勢の変化及び長期継続の理由	○令和 5 年「道の駅」オープン予定					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	整備率 (整備済み延長/路線実延長)				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	94.0 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	94.1 %		把握の時期	令和 2 年 4 月	
達成率 b/a	100.1 %					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○一般国道103号は県北地域と青森県を結ぶ地域間交流のほか、一般国道104号との連絡や東北自動車道「十和田IC」の活用により、広域的な物流や十和田湖を中心とした周辺観光施設への性の向上に寄与する路線である。 ○当該交差点部は、最小曲線半径が30mの急カーブに加え急勾配などの課題があることから横断中の歩行者と車両の事故も発生しており早期改良が必要である。	13点
緊 急 性	○環境省が推進する「国立公園満喫プロジェクト」の一環として、「十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020」に当該箇所の整備が位置付けられている。 ○計画期間 (H32~R2) 内に関係機関 (環境省、小坂町) との一体的な整備を進める必要がある。	15点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○当路線は十和田八幡平国立公園への主要アクセス路線となっており、道路整備効果は大きい	26点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.02であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 4.7億円 ・総費用の現在価値 4.9億円 ○他工区からの盛土材の流用によりコスト縮減を図っている。	18点
熟 度	○令和元年度末の事業進捗率は34%である。	15点
判 定	ランク (●I ○II ○III)	87点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R2-建-継-03)
 箇所名 (小坂町和井内)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	8	・最小半径30m ・最急勾配7% ・冬期堆雪中なし 3箇所
		・車道幅員<5.5m	2箇所	5		
		・最小半径<100m	1箇所	3		
		・最急勾配>4%	該当箇所なし	0		
		・冬期堆雪中なし				
	道路環境上の欠陥該当項目	・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 ≤ 30 km/h	3項目該当	7	5	・現道の旅行速度 ≤ 30 km/h ・重大事故が発生 2項目
		・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生	2項目該当	5		
		・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	1項目該当	3		
			該当項目なし	0		
	計		15	13		
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	5	5	国立公園満喫プロジェクト
		・県の主要プロジェクト	なし	0		
		・地域振興プロジェクト				
		・ほ場整備等の他事業				
	緊急度の高い課題の有無	老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保	あり	5	5	設計速度に対する曲線半径が確保されていない平面曲線3箇所
		冬期通行不能区間等	なし	0		
	同一路線の整備状況	整備済み	整備済み	5	5	整備済み
		未整備	未整備	0		
		計		15	15	
	有効性	道路の位置づけ	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6
第2次輸送道路			6			
第3次輸送道路			4			
指定なし			0			
救急医療施設へのアクセス		アクセス性向上に大きく貢献	7	5	かづの厚生病院	
		アクセス性向上に貢献	5			
		アクセス性向上への貢献が小さい	3			
観光・産業の活性化		活性化に大きく貢献	7	7	十和田八幡平国立公園	
		活性化に貢献	5			
		活性化への貢献が小さい	3			
社会変化による事業の必要性		必要性が高い	8	8	道の駅R 5年度登録予定	
		必要性に変化はない	6			
		必要性が低い	4			
		必要性が著しく低下	0			
		計		30	26	
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.02
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	3,210台/日	
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	3			
	コスト削減	1,000台/日未満	0	5	他工区盛土材の流用	
		あり	5			
	事業中止による影響	なし	0	5	大規模バイパス	
		既投資額の損失大	5			
		既投資額の部分的損失	4			
		既投資額の損失が少ない	3			
	計		20	18		
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	34%
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		未着手	0			
	計		20	15		
合計				100	87	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		